

密告の砦

とりで

愛と誇りが生んだ無言の誓い
絶望の地平線に叩きつける熱い叫び

劇的空間に豪快なヒロイズムがみなぎる！
鬼才ヤンチョーが 戦慄の映像美で
世界に躍り出た異色問題作！

監督ミクローシュ・ヤンチョー

MAFILM製作 / アガスコープ作品
ハンガリー映画

ハンガリー批評家選出最優秀映画賞
英国批評家協会最優秀外国映画賞

BOW 傑作を世界からはこぶ
パワ・シリーズ
フランス映画社提供

エキブ・ド・シネマ/ロードショー！

6月25日(土)より

●地下鉄(都営6号線) 神保町・下車1分/国電(中央線)
水道橋またはお茶の水駅・下車7分 ●神保町交差点

岩波ホール (262)
5252

特別鑑賞券900円 (岩波ホールチケットガイド(ビル1階)の
ほか都内各プレイガイドで絶賛発売中！)

(当日は一般・学生とも1200円)

■入替え制・自由定員制 ■〈毎火曜の夜は休場〉

●上映時間●

平日(月～土)	1:00	3:30	6:30
日 曜	12:00	2:30	5:00

●映像美と支配力学の世界、ヤンチョー
アンジェイ・ワイダより新しい世代で、いまヨーロッパで最も注目されている東欧の映画作家は、アメリカで活躍中のチェコのミロシュ・フォアマン（「カッツ」の巣の上で）と、ユーゴのドゥシヤン・マカベイエフ（「オルガンズムの神秘」と、この、ハンガリーのミクロシ・ヤンチョーの三人が代表的だ。ヤンチョーの長篇映画は現在まで15作品。どの作品でも、敵味方が常に混在するスリルと、人馬やカメラの円環状の動きが特徴で、そこから浮き彫りされる支配力学の難解さのため、一作ごと、国際映画祭で賛否両論の激論を呼んでいる問題の作家である。



これまで、オーストリア占領軍の命によってハンガリー人将校たちが巧妙にくんだ密告の罠から、首領シャンドルをかばいとおすために、次から次に犠牲となつて倒れた史実に基いて、義賊たちの抵抗を、冷徹に、豪快に、目もさめるような映像美で描破したこの力作は、66年カンヌ映画祭に絶賛され、つづく各地の国際映画祭に特別招待されて、英国批評家協会が毎年、その年度の全映画祭出品を対象として選出する最優秀外国映画賞を受賞した。主演の俳優陣はいずれもハンガリー映画の名優で、スタッフのバノヴィツ（美術）、ショムロー（撮影）、ファルカシ（編集）は今長編劇映画の監督である。

「密告の罠」はヤンチョー映画の日本初公開作品であると同時に、ヤンチョーが国際的に注目をあびた実質的デビュー作。

対オーストリアの独立戦争で敗れた義賊集団（絶望団）の残党が農民たちと一緒に皆に狩り

●物語の発端 シャンドルとは誰か？

1869年、オーストリア・ハンガリー二重帝国の治下に入って3年めのハンガリーの荒野の砦に、農民たちと一群の義賊集団が狩りこまれた。誰が農民で誰が義賊であるかを知っているのは捕えられた人間たちだけで、捕えた側のハンガリー将校たちには分らない。

砦には、すでに以前から独房に放りこまれている義賊たちがいた。

義賊たちは〈絶望団〉の残党で、1848年の、対オーストリア独立戦争で、独立派のコッシュートの呼びかけに応じて参戦し、勇名を馳せたものの、敗戦いらい農民たちにまじってゲリラ活動が続けていた。〈絶望団〉とその首領シャンドルは、農民たちから歌にうたわれる程に英雄視されていた。

いま、ゲリラ掃討の号令を下したのはハンガリー人ラダーイ伯爵で、伯爵の狙いはそのシャンドルを探しだすことと、〈絶望団〉の残党を一斉に逮捕すること、しかもそれを、農民たちのシャンドルと〈絶望団〉への英雄視をうち砕く方法で行うことだった。

●黒い歯車がまわる…

ハンガリー人将校たちの心理作戦が、黒衣の老農婦の登場とともに開始される。メ



彼女の眼前で、独房の捕虜の一人が銃殺される。復讐が果たされた代償として、彼女は、捕虜たちのなかから〈絶望団〉の残党を密告する。そのひとりヤーニは、実は、老農婦の夫と息子を殺した犯人であることと、過去に5人殺したことを自白する。

●5人殺しが6人殺しを探す…

将校はヤーニに、彼よりも罪を重ねている人間を捕虜のなかから探しだせと命じる。ヤーニは、独房の捕虜ペーラを密告する。が、ペーラは、自分が殺した6人の名前を言う前に絞首台で処刑されてしまう。

●おとり……義賊の誇り

不思議な光景がヤーニの目を襲う。憲兵のひとりが〈絶望団〉の残党の疑いをかけられて、それも、シャンドルの右腕とたたわれ、すでに戦死したと伝えられていたベセルカだとの疑いをかけられて、捕虜たちのなかに放りこまれたのだ。

ほんもののベセルカが捕えられ、若い農婦ユリと捕虜たちに対する残酷な儀式が展開する。ユリが死に、ベセルカたちは自殺する。その夜、密告者ヤーニが殺され、シャンドル探しのために、ヤーニ殺しの嫌疑をかけられたカバイ親子とトルマの3人を除く、他の捕虜が全員オーストリア軍に入隊する異常な事態すら発生する…。

ミクロシ・ヤンチョー監督作品

SZEGÉNYLEGÉNYEK

【スタッフ】

監督……………ミクロシ・ヤンチョー
脚本……………ジュラ・ヘルナーディ
撮影……………タマーシュ・ショムロー
照明……………ペーラ・オルシ
録音……………ゾルターン・トルディ
美術……………タマーシュ・バノヴィツ
衣装……………ジュジャ・ヴィンツェ
編集……………ゾルターン・ファルカシ
1966年Mafilm製作、アガスコープ、1時間31分
原題【セゲニレゲニェク】ハンガリー映画

密告の砦

フランス映画社提供 ●バウ・シリーズ No.6

〈併映短篇〉イシュトヴァーン・サボー監督 ハンガリー映画
「あなた」TE 音楽モーツァルト 黒白11分
1963年カンヌ映画祭特別表彰賞
1963年ツール国際短篇映画祭グランプリ

【キャスト】

ヤーニ(ヤーノシュ・ガイドル)……………
……………ヤーノシュ・ゲルベ
ベセルカ……………ゾルターン・ラティノヴィツ
カバイ(父)……………ティボル・モルナル
トルマ……………ガーボル・アガールディ
カバイ(息子)……………アンドラーシュ・コザーク
ペーラ・バルシ
ヨージェフ・マダラシュ
ヤーノシュ・コルタイ
イシュトヴァーン・アヴェル